

乳用牛の暑熱対策

1 体温の上昇を抑えるために

- 牛舎外からの熱の侵入を防止
 - ・牛舎の屋根、壁への断熱材の利用、白色系塗料を塗る、屋根への散水
 - ・遮光ネット等を利用して直射日光を遮断する
- 牛体からの熱を発散させる
 - ・大型扇風機ダクト送風機、スポットエアコン等による送風
(体熱が蓄積される夕刻から夜間にかけての送風が有効である)
 - ・細霧装置による散水
(送風機との併用が効果的である、ただ湿度が高くならないように注意)
 - ・牛体の毛刈り
 - ・夜間放牧を実施したり、飼育密度を薄くする
- 熱発生量の少ない飼料を給与する
 - ・消化の良い良質粗飼料を与える
(粗剛なものほど熱の発生量が多い)



2 食欲低下による栄養不足の防止

- エネルギー摂取量の確保
 - ・高いエネルギーで嗜好性の良い飼料を与える
 - ・夜間に飼料給与を行う
 - ・分離給与の場合は粗飼料から給与する、また給与回数を増やすことによる必要摂取量を確保する
- 牛体の健康に注意、食欲増進を計る
 - ・飼料添加剤（ビタミン、ミネラル、バッファー等の利用）

3 乳脂肪分低下の防止

- 飽和脂肪酸（ステアリン酸やパルミチン酸）を含有する補助飼料の活用

4 乳房炎の防止

- 畜舎及び牛体の清潔保持
 - ・クモの巣を除去したり、畜舎の清掃に務める
 - ・牛体の洗浄及び乾燥
 - ・牛床の乾燥
 - ・定期的な敷料交換

5 常時新鮮な水が飲めるように

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 Fax 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp
異常など確認された場合には、至急ご連絡ください。